

ともだちのわ

T O M O D A C H I N O W A



めぐみ幼稚園



梅乃園幼稚園



新検見川幼稚園



こざくら第二幼稚園

Contents

- P02 巻頭言 まなこどもクリニック 院長 原木 真名氏
- P03 特集 一人で悩まずに、相談を
- P04 千葉市幼稚園協会 研修会
- P05 千葉市幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて
- P08 「理事長・園長研修会」に参加して
- P09 令和5年度 へらそうくんルーム／幼稚園&こども園フェア2024
- P10 お弁当・給食だいすき
- P11 保育室の窓から
- P12 千葉市幼稚園協会からお知らせ、編集後記

巻頭言 ポストコロナの子どもたち



まなこどもクリニック
院長 原木 真 名

3年間のコロナ禍が終わり、ポストコロナの時代がやってきました。海外との往来は増え、旅行したり外食したり、と、コロナ前の社会にもどった感があります。大人にとって、IT化が急激にすすみ、コロナ前にくらべてかえって便利になったこともあります。

子どもたちも、さまざまな規制から解放されてみんなで大きな声で笑いながら遊べる毎日が戻ってきました。

コロナ禍の3年間、子どもたちはどんなだったでしょうか。登園自粛。パーティーごしの給食や黙食。公園にいったら遊具禁止。大きな声で歌わない。先生方もお父さんもお母さんも、みんなマスク。運動会、発表会、遠足中止。そんな状況だったと思います。幼稚園のあとお友達のおうちに行って遊ぶ、ということもほぼなかったのではないのでしょうか。生活リズムは乱れ、メディアを見る時間が増えました。

子どもたちは、3歳をすぎると、遊び、ふれあい、じゃれあい、争い、切磋琢磨して社会性を育てていきます。同年代の友達とのふれあいはとても大切です。けんかして、仲直りして、お互いの痛みを感じあったりすることで、心のしなやかさを身に付けていきま

す。自由な遊びや交流が制限されるなかで3年間育ってきた子どもたちへの影響が出ていないわけがありません。

実際、今回のコロナ禍の子どもたちの発達を検討する研究があり、3才～5才の間でコロナ禍を経験した子どもたちは経験していない子どもたちに比べて発達が4か月程度遅れていたという論文が発表されました。やはり、遊んだり子ども同士ふれあったりする経験が不足してしまったための社会性の遅れと考えられます。

さらには、メディア漬けの問題があります。外で遊べなかった3年間は、子どもたちのメディア利用時間が長くなりました。特に年中年長でステイホームの時期を経験した子どもたちは長時間のメディア視聴の習慣がつき、影響が出ているように思います。ゲームやYouTubeの「仮想体験」は、五感を伴う実体験とは違います。五感を伴った経験をしていない子どもたちが、仮想現実だけの世界にのめりこんでしまうと、心にも体にも影響が出てきます。

子どもたちにとって「なかったことにはならない3年間」です。「普通の経験ができなかった、いままででない育ち方をした」子どもたちです。

大人の私たちにとっての課題は、子どもたちが受けた影響を敏感に把握し、対処していくことだと思います。多くのリアルな体験（体を使った外遊びなど）を増やすこと、生活リズムを整えること、などから始めて欲しいです。幼稚園は、子どもたちにとって、様々な素晴らしい体験をたくさん積める場所です。ぜひ、お力をお貸しください！

特集 一人で悩まずに、相談を

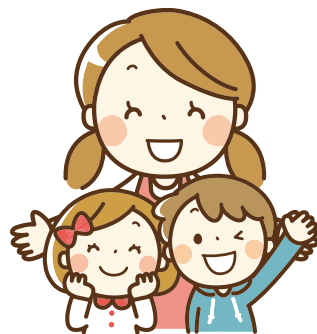


株式会社 Treasure
うんど☆ことばの教室
代表取締役 新井 雅子

子育てをしているご家族の方が気になるのは「言葉がでない」「話さない」「滑舌がわるい」「よく転ぶ」「お友達とうまく遊べない」「一人で遊んでいることが多い」「すぐに癇癪を起こす」といったことが多いのではないのでしょうか。言葉はコミュニケーションの大切な部分であり、とても重要な手段です。また体がしっかりしていないと、楽しく遊ぶことも難しくなります。このような気になることがあっても、どこに相談したら良いのかわからない方が多いのではないかと思います。悩みや不安を抱えたなかでは、楽しく子育てをすることができなくなってしまいます。ネットでたくさん検索して「この子、障がいがあるかも?」「発達障害かも?」などとても不安になっている方が多いのではないのでしょうか。ネットのなかに書いてある情報は、ほんの一部のものです。一人で検索して不安になる前に、当事業所のような場所に気軽に来ていただき、お話を聞かせてください。一人で悩まないことが大切です。不安と思うことがあったら、私たちにお話してください。いつでもお話を聞く環境を作って、お待ちしております。

子育ては未来の日本を支える人材を育てることであり、子どもは「社会の宝」と考えます。子育ては、親だけが担うものではなく、学校や地域のさまざまな人たちに見守られながら行なうべきだと考えます。私たちの事業所では、その手助けができるよう努力していきます。親にとって子どもは「宝」その大切な「宝物」がより一層輝ける場所を作りたいと思い「Treasure」とつけました。「子育ては苦しい面もあるが楽しい」と感じ、子どもや家族の気持ちが安らぐような環境や場所作りに努めていきたいと思います。

さまざまなニーズに対して当事業所は、専門職である理学療法士、言語聴覚士を配置した児童発達支援事業所として、専門性を高めた運営を行っております。具体的な内容としては、個別に問題となっている機能低下について適切な成長発達を促し、苦手としていた部分の改善を目標に支援しています。しかし、個別の対応だけでは集団活動の改善に至らないことも多いのが現状なので「うんど」「ことば」に特化した集団活動を取り入れています。未来ある子どもたちの笑顔を絶やさないように、またご家族がたのしく子育てができるように少しでもお力になればと思います、日々努力して参ります。



千葉県幼稚園協会 研修会

令和5年度パソコン研修会

経営委員長 伊藤 徳久

8月29日(火) 千葉経済大学短期大学部4階パソコンルームで開催。前日のPowerPoint研修とは違って話題のChatGPTなので理事長・園長先生方が多く22名の参加でした。

講師は毎年お世話になっている学校法人千葉経済学園情報企画戦略室の串山先生。実は先生の大学時代の専門が人工知能だったというお話をいただき研修が始まりました。

OpenAIが昨年11月にリリースした生成AIのひとつがChatGPTであることから学びました。「生成AIとは」「生成AIの利用の注意点」「従来のAIと生成AIの違い」「学校向け指針が示した生成AIへの対応」「機械学習と深層学習」「生成AIによって影響を受ける職業」「保育へのChatGPT活用」等の講義後、実際に各自の

パソコンでChatGPTのアカウント登録を行い使ってみました。活発な質疑応答もありとても有意義な研修が終了しました。講師の串山先生に感謝申し上げます。



学校法人千葉経済学園情報企画戦略室 室長代理 串山 寿先生

10月18日に行った分科会研修会

研究部会 「保育実践者としての課題を考える」

今日、非認知能力の育成が求められており、それは幼児の主体的な活動を通して育まれること、そのために環境構成や教材についてもっと研究し工夫していく必要があることを学びました。

年少分科会 「てあそび ふれあいあそび」

「てあそび」や「あそびうた」をたくさん紹介していただき、歌いながらクイズを出したり、体を動かしたりするあそびを学びました。

年中分科会 「科学を楽しもう!子どもと楽しむ科学と絵本」

空気や音、光を使った実験の他にかがくおもちゃの簡単な作り方を教わりました。また、科学絵本と物語絵本の読み聞かせ方の違いも学びました。

年長分科会 「幼児教育と小学校教育の連携・接続について」

小学校と幼稚園、こども園が連携することの大切さや、どの遊びや活動にも幼稚園教育要領の10の姿を基に必要な体験を積み重ねることが大切と再認識しました。

教務・主任分科会 「対話的な保育について」

協同する学びが相互に響き合う関係をつくること子どもたちの力を信頼し、一緒に保育を進めることを学び合いました。

事例研究会 「インシデントプロセス法による事例研究」

インシデントプロセス法を用いて事例検討をしました。一人の考えではなく他者の考えや意見を聞くことの大切さを学びました。

千葉県幼稚園教育研究会(公開保育)を終えて

<第55回千葉県幼稚園教育研究会を開催しました>

令和5年11月8日、千葉県幼稚園教育研究会(以下、公開保育)を開催しました。前日は強風吹き荒れる天候でしたが、この日は晴天に恵まれ公開担当園の子どもたちものびのびと活動することができました。公開の形式を変更して2年目の公開保育。感染の不安が減り参観者も増加しました。保育者が保育を観て語り合うことの意義を感じ、今後もこの公開保育が保育の質の向上につながる場となることを期待したいと思います。

研究委員長 鈴木 由歌

中央区 翠幼稚園 石田 紋子

お天気にも恵まれ、教育研究会当日を迎えました。

子どもたちがとても楽しみにしていた「お買い物ごっこ」、特に年長さんは店員さんをやることにとてもはりきっていました。

各学年それぞれの姿と年長さんとのかわる姿を参観していただきました。

ご参加いただいた幼稚園協会の役員、各園の先生方からのご意見、ご感想はとても貴重なものとなり、自園の保育を見つめ直すよい機会になりました。

この経験を活かして、今後も保育の向上に努めていきたいと思っています。



「お買い物ごっこ」の様子

中央区 認定こども園 松ヶ丘幼稚園 原 明美

おだやかな晴天の下大勢の先生方をお迎えして公開保育が行なわれました。

園庭では、年中組が元気よく、ラインサッカーを展開し、応援の声が響き渡りました。

年長の石こう版画では刷り上がった絵を参加者の先生に褒めていただき、満足気な子どもの笑顔が印象的でした。

年少は英会話やジャングル遊びでしたが、緊張して泣くこともなく楽しく活動できました。

学年ごとの分科会やアンケートでは、貴重なご意見や温かい感想をいただきました。ありがとうございました。



年中組のラインサッカー

中央区 梅乃園幼稚園 杉本 卓美

普段の保育を観ていただいた後、反省点、改善点をいただければと思います、当日を迎えました。

各クラス毎に行った分科会での振り返りでは、自由な保育と教え導く保育の間で自問自答していることや新しい視点や発見があった等の意見が伺えました。日本の教育の基礎は幼児教育です。同じ保育者がより良い保育を目指しての研修会はとても有意義なものと再確認した1日でした。ありがとうございました。



当日の朝の体操

美 浜 区 子鹿幼稚園 野田 郁乃

良い天気恵まれ、たくさんの先生方を迎え、普段の保育を観ていただきました。

参観して下さった来賓の先生から登園してきた園児に「私は、〇〇です。よろしくお願いします。あなたのお名前は?」と声をかけられ、子鹿幼稚園の子どもコミュニケーション能力が高いとコメントをいただきました。分科会やアンケートでは、温かいお褒めの言葉をいただき、これからの保育の糧になりました。ありがとうございました。



年長 ミニお店屋さんごっこ

美 浜 区 認定こども園 高洲幼稚園 長谷川 深雪

6回目の公開保育は、これまでで一番の好天に恵まれ、園児が活動しやすい研修日和でした。

来園の先生方が、支援が必要な子にかかわる保育者たちの連携を含め、保育をしっかり見て下さったことは、分科会での発言や、アンケートにも表れていて、嬉しかったです。

日常の園の実態を公開出来て、教職員も自信を持てたと思いますし、創立50周年のよい記念になりました。ご来園の先生方、協会の緑の下の方の先生方、ありがとうございました。

最後に、能登災害被災地の子どもたちや、戦争状態にある国々の子どもたちに一日も早く、安心して成長できる日が来ることを祈ります。



手作りマラカスで楽しかった〜♪

美 浜 区 幕張インターナショナルスクール幼稚園 トレント シトラノ

近隣小学校の校長先生はじめ33名の先生方にご参観いただきました。公開保育1では、すべてのクラスがフォニックスと言語(英語)の時間を展開しました。(フォニックス:綴り字と発音の関係から読み書きを教える方法)年中クラスでは、絵本「3びきのくま」の役になりきって演じることで登場人物の気持ちを想像し、自主活動では塗り絵やくまのお面づくりを楽しむ姿が見られました。

全体会をはさんで公開保育2が展開され、言語(日本語)や算数の時間となりました。秋の野菜や果物を五感で楽しみ言葉で表現するクラスや、さまざまな素材を使い創意工夫をしながら自分で設計したロケットを作るクラス、また、ゲームやパズルで足し算・引き算に挑戦するクラスもありました。インターナショナルスクールを理解していただく良い機会となったと思います。



物語を楽しむ子どもたち

花 見 川 区 認定こども園 さつきが丘幼稚園 宮間 美由紀

温かく穏やかな青空の下、子どもたちは小動物と触れ合ったり、好きな遊びを見つけたりして元気いっぱい楽しんでいました。たくさんの加盟園の先生方、保育所、近隣の小学校の先生方全員が交代で参加して下さり、幼保小連携にもよい機会となりました。

普段から集めて遊んでいる自然物を使って制作をしたり、実験をしたりと新しい発見や挑戦に子どもたちのワクワクした様子が見られ、園の研修テーマである「感じたことを表現しよう伝えよう」という内容の保育が展開できたと思います。分科会研修では貴重なご意見をいただき、今後の教育活動に活かし、励みとして教職員一同頑張っていこうと思います。



自然物を使った制作

稲毛区 あやめ台第二幼稚園 芝崎 易生

前日の嵐のような天気とは打って変わり、好天に恵まれ、20名の先生方と地域の小学校の校長先生・協会の役員の先生方に本園の保育を参観していただきました。どの学年もこの時季に行う題材の保育を展開しました。

「生きる力を引き出す保育の実践」をテーマに本園ではさまざまな体験活動を主体とした保育に取り組んでいます。その一端を参観していただき、各分科会では温かい感想や貴重なご意見をいただき、有意義な時間となりました。参観された先生方に感謝いたします。これからも幼稚園教育に一層の精進をしてみたいです。



年長 マリーゴールドとタマネギの皮を使った草木染め

稲毛区 認定こども園 山王幼稚園 今井 尚美

「たくさんのお客様が来ますので、みんなの遊んでいるところを見ていただきます」と、事前に子どもたちに伝えました。

当日は、活動を加勢してもらえるような秋晴れで、来園される方も参観しやすいであろうと安堵しました。

普段と変わりにく意欲的に活動する子どもたちの姿を見て、公開保育は保育者だけでなく、子どもたちにとっても成長のきっかけになると実感できました。

「恵まれた環境を生かして、遊ぼう」をテーマにして公開日を迎えるまで、研鑽を積む機会を得て、また協議会でも、多くのご意見をいただくことで「子どもたちがやってみようと思える環境づくり」について再確認することができました。ありがとうございました。



秋のアスレチックにて

若葉区 千葉文化幼稚園 中村 八重子

さわやかな季節のなか、元気いっぱいの子もたちと一緒に公開保育にのぞみました。本園では1年目から3年目の若い先生の保育、並びにリトミックと体育の専任講師の保育も合わせて参観していただきました。分科会では今後の保育につながるご意見や励ましのお言葉をたくさんいただき、有意義な時間をすごすことができました。ご来園くださいました皆様に感謝申し上げます。



学年ごとの分科会風景

若葉区 都賀の台幼稚園 島田 靖子

「生きる力を引き出す保育の実践」のテーマを受けて、活動は室外でのルールのある集団遊びやゲーム、秋の環境を活用した制作などでした。

参観してくださった先生方からは分科会やアンケートにおいて、たくさんのご意見・ご感想をいただきありがとうございました。

課題として「自分で考えて判断する時間が十分でない」ということが挙げられました。普段の保育を見つめ直すよい機会となりました。公開保育を行い、参観し合うことは幼児教育に携る者にとってたいへん有意義な場だと考えます。

これからも子ども一人一人の思いを尊重し、自分らしく安心して幼稚園生活を送れるよう、また、保育者の自分らしさも発揮できるよう大切にしていきたいと思います。



年中 折り紙制作「おいもを折ろう」

過ごしやすい天気の中、元気な子どもたちの様子をお見せすることができました。「子ども主体の保育」というテーマで、年少組では「紙粘土で食べ物作り」年中組では「子どもたちが自ら見つけた木の実を使い、七五三のあめ袋制作」年長組では「カプラを使った街づくり」をご参観いただきました。どのクラスも子どもたちがやりたいということを選択し、自由な発想で楽しく活動ができていました。

分科会では、ご参観いただいた先生方と日々の保育について意見交換や行事での主体性はどうか取り入れていくかなどとても貴重な意見をいただき、良い学びの場となりました。



木の実や葉を使ってあめ袋作り

公開保育では、キッズビレッジで日常取り入れている「STEAM保育」を見ていただきました。日々、子どもたちがさまざまなことを体験し、主体的に考え楽しめるように活動をしています。当日は、子どもたちの生き生きとした表情が印象的で、いつもと違う先生方に見られることで、意欲的に発言する子が見られ、とても良い刺激になったと思います。職員にとっても自分たちの保育を見てもらうことで、自分自身を振り返る良いきっかけとなり、保育後の意見交換会でも貴重なご意見をいただき、とても有意義な機会となりました。



毛糸とトイレトペーパーの芯を使った絵の具遊び

「理事長・園長研修会」に参加して

城徳学園いそべ幼稚園 園長 小川 達也

1月19日千葉市教育委員会前教育長磯野和美先生のお話を伺えました。80分間立て板に水の如くほとんど原稿に目を落とすことなく一気にお話をされました。それもメリハリのある話術で、伺っている私たち受講者が、一言も聞き逃すまいと心地よい緊張できる時間でした。また直近の千葉市の細かな数字までを事前に調べ、レジュメのなかに記していただき、その数字の意味するところ、数字だけでは読み取れない行間まで詳しく解説をいただきました。残念ながらこの場に出席できなかった方は、是非、資料を熟読してください。現在の千葉市の教育現状と課題がよくご理解いただけると思われます。

講演では、磯野先生の教育に対する熱い思いが言葉の端々に滲み出ていました。同時に教育行政のトップを務め、残念ながら成果が現れなかったことに対する悔しさも伝わってきました。

特に印象的な言葉・説明を三つ紹介します。

まず、予測困難な時代の幕が開き、『十年一昔が三年一昔』に変わっている。ものすごい速さで時代は変わってきている。具体的には、全ての小中学生にタブレットを配布したが、4年を経過した今、帰宅後には子どもたちは使用しない。そこに入っているアプリはもう古く、家庭にある方が活用しやすいから…。

次に、コロナ禍の前には、もう戻れない。学校行事に招待したり、地域の行事に招待されなくなったりしたことで、校長・教頭先生と地域の方々、幼稚園・保育園等との関係がとても希薄になってしまった。幼保小の連携にも影響が出ている。

最後に、今の保護者は、自分の子どもに寄り添った指導をととても熱心に要望をする。その主張・考え方は、一面から見れば間違いではないけれども、もっと視野を広げて全体的に見ていただきたい。

とても充実した研修が受講できました。



令和5年度 へらそうくんルームを実施しました!

千葉市の環境資源循環廃棄物対策課が毎年開催している「へらそうくんルーム」についてご紹介します。

目的

人格形成に重要な幼児期に、啓発紙芝居の読み聞かせやごみ分別ゲームの体験を通して、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の重要性を認識してもらうことを目的とする。

内容(40分程度)

- ・3R啓発紙芝居の読み聞かせ
- ・ごみ分別体験ゲーム（実際にごみの分別を体験する）
- ・〇×クイズ

実施対象

次年度に小学校入学予定の5歳・6歳児

実施場所

幼稚園・認定こども園6か所、市内保育所6か所（各区1園ずつ）

令和5年度 幼稚園・認定こども園の担当園

中央区	(認) 千葉明德短期大学附属幼稚園
美浜区	(認) 真砂幼稚園
花見川区	こてはし台幼稚園
稲毛区	小中台幼稚園
若葉区	やまびこ幼稚園
緑区	あすみ中央幼稚園



リサイクルおもちゃ



3R啓発紙芝居の読み聞かせ



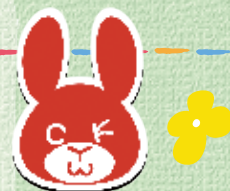
ゴミ分別ゲーム



〇×クイズ

2024

幼稚園 & こども園フェア



令和6年 7月28日(日) イオンモール幕張新都心にて開催決定!!

千葉市内の幼稚園や認定こども園について未就園児の保護者様に知っていただくために、2018年から開催しております。昨年度はイオンモール幕張新都心で2日間に渡り盛大に開催しました。

2024年も更に皆様に楽しみながら園選びをしていただけるように実行委員一同、計画を進めております。詳細が決まりましたら千葉市幼稚園協会のHPや協会加盟園よりお知らせいたします。昨年度よりも更に良いイベントになりますよう、努力いたします。皆様に喜んでいただける新コーナーや舞台ゲストも検討中です。お楽しみに!!



お弁当・給食だいすき



「おなかすいたあ。ごはんまだあ」と子どもたちの楽しみはお昼ごはんです。

千葉市の幼稚園、こども園の昼食は、お弁当や給食（自園・外注）などさまざまなかたちをとっています。

今回は都賀の台幼稚園（月・火はお弁当、水・木・金は外注給食）の年少児のお弁当と稲毛幼稚園の自園給食を紹介します。ご提供いただきありがとうございました。

お弁当だいすき

年少男児

メニュー

・おにぎり ・エビしんじょうのパン耳揚げ ・チーズ入り肉団子 ・チャプチェ ・卵焼き
・レンコンの海苔塩きんぴら ・大学芋 ・りんご ・柿



～お母さんからのコメント～

色々な味を経験して欲しいという思いから、なるべく多くの食材と違った味付けを取り入れるように意識しています。

子どもの頬張る姿を想像し、どんなものでも食べてみようと思ってもらえるように彩りや形を工夫するなどして、私自身も楽しみながら作っています。

久保田 紗千（都賀の台幼稚園）

年少女児

メニュー

・ケチャップライス ・卵焼き ・ささみフライ ・かぼちゃ ・ブロッコリー ・ミニトマト ・柿 ・みかん



～お母さんからのコメント～

楽しく食べて完食してほしいので、好きなものを入れるようにしています。

お野菜は、ミニトマト・ブロッコリー・えだまめ・かぼちゃ・さつまいもが定番です。いつも、多いかな、少ないかなと、迷いながら詰めています。帰ってきて「お弁当ピカピカだね」と褒めると、笑顔が誇らしげです。

溝川 佳苗（都賀の台幼稚園）

給食だいすき

「笑顔いっぱい」の給食

栄養士 大沼 徳子（稲毛幼稚園）

稲毛幼稚園では和食を中心とし素材にこだわった自園給食を提供しています。

お出汁は昆布と椎茸の植物性だしにこだわり、産直野菜を取り入れることで旬の

美味しい時季に美味しい野菜を届けています。和食以外にも代々人気なメニューを紹介します。『ビビンバ丼』です！子どもたち用に辛い要素はありませんが、人参・ほうれん草・もやしはそれぞれ下味をつけ、ひき肉はご飯が進むような濃い目に味付けをします。ご飯を残しがちの子ども、この日ばかりはしっかり食べてくれる人気な定番メニューです。

メニュー ビビンバ丼



白ご飯しか食べられない、お野菜が苦手、と子どもたちの食事に関する悩みは毎年つきません。それでも保育室での声掛けや給食調理員によるお部屋巡回を重ねることで、子どもたちは日々成長し苦手を克服していきます。お互いを励まし合い、会話を重ねながら【食事＝楽しい】に結び付け、食事中は笑顔いっぱいです。

子どもたちの嗜好は年々異なり、給食室では毎日どうしたら喜んでもらえるか思考を巡らせています。一日の終わりに『いつもありがとう』『ごちそうさまでした』と声を掛けてくれる子どもたちがもつと食事を楽しんでいるように、これからも精進します！稲毛幼稚園のみんな！いつもたくさん食べてくれありがとう！



身近な自然を五感で感じる子どもたち

横村 美沙（弥生幼稚園）

弥生幼稚園の園庭には四季折々の草花や植物などがたくさんあります。子どもたちは進級当初から虫めがねを使ってキンモクセイの花を観察したり、シナモンの葉っぱの匂いを嗅いだりと、園庭の草花に興味をもち、身近な自然に触れあいながら楽しむ姿が見られました。草花を観察していると「これは、おばけみたいな形をしているね!」「このお花は何という名前なのかな?」と気付きや考え・疑問など興味をもち、絵本や図鑑で調べるようになりました。ある日、自然物製作の本を見ていて「カラスウリのジャック・オ・ランタンを作りたい」と話していました。園庭を探してもカラスウリはどこにも



見当たりませんでしたが、園長先生に四街道の栗畑にあることを教えてもらおうと、嬉しそうな表情になり探しに行くことを楽しみにしていました。栗畑からカラスウリを集めてきた後は、念願のジャック・オ・ランタンづくりをしました。カラスウリに一人一人思い描いたおばけの顔を描いて切り抜き、可愛い顔や怖い顔…が完成しました。

これからも身近な自然に触れながら季節の変化を楽しみ、子どもたちの気付きや疑問などを大切にしていきたいと思います。



私の好きな絵本

「くろくとなぞのおばけ」
作・絵：なかやみわ
出版社：童心社

次々と他のクレヨンたちが連れ去られ、とうとうくろくん一人になってしまいます。いなくなった仲間をさがして、なぞのおばけの正体を探っていくミステリーのようなドキドキの展開から、クレヨンたちがいなくなった意外な理由が明らかになっていく、心温まる少し涙が出てくる感動的な一冊です。

お店屋さんごっこ

城 恵（若松台幼稚園）

毎年2学期になると園外保育を計画し、お店屋さんごっこへ向けての興味や期待をもたせるようにしています。

年中児はお弁当とおやつを持参し、ピクニックも兼ねて、近隣のお店へ行き、先生が買い物をする様子を見て、売り買いの仕組みを改めて学びます。年長児は自分の財布に110円を入れて、近くのお店に協力してもらい、1人ずつ好きな商品を選んで実際に買い物を体験し、子どもたちは大喜び!!園内のお店屋さんごっこでは、各学年のお店屋さんとともに年長児主体の「バス」や「タクシー」にも乗車することができ、異年齢交流を楽しむ機会にもなっています。「いらっしやいませ」「はい、どうぞ!」など売り買



いに必要な言葉を学び、コミュニケーションを図る姿が見られていますが、昨今では駄菓子屋さんが減少し、子ども自身が1人で買い物をするという経験がなかなかできません。誰の手も借りず、買い物をするという事に消極的で自信が持てず、抵抗を感じる子どもも少なくないと思います。「お店屋さんごっこ」というこの小さな経験が子どもたちの「生きる力」を育んで行くための大変意義のある活動だと感じています。



私の好きな絵本

「パンダ銭湯」
作：tupera tupera
出版社：絵本館

『パンダ以外の入店は固くお断りしています』と書かれた貼り紙を見ると「えっ?パンダのためのお風呂屋さん!」「えっ?服?何を脱いでるの?」と驚きに包まれあつという間に絵本の世界に入り込んでしまう作品です。あまりにもこの作品が大好きで生活発表会の劇にも取り入れた程おすすめですよ!!

くれよんのくろくん

伊藤 藍（花水木幼稚園）

子どもたちは、お絵描きが大好きです。クレヨンや色鉛筆、マーカーペンなどを使いながら自由に絵を描き、喜んで遊ぶ姿が見られています。

保育室で絵本『くれよんのくろくん』を読んだ時、子どもたちは「勝手に箱から出たきいろくんは悪い子だ〜」「仲間外れにされていたくろくんだけど、黒いクレヨンが無いと目が描けないよ!」などいろいろな感想が聞こえてきました。どのクレヨンも絵を描くのに必要で、一つ一つの色の大切さを知ることが



できたり、クレヨンの約束事も再確認することができたりしました。

生活発表会に向けて子どもたちと「何の劇をしようかな?」と考えていた時『くれよんのくろくん』を見つけ、年少組の子どもたちにぴったりだと思いました。子どもたちも劇に興味をもちながら喜んで練習に取り組む姿が見られました。発表会当日は、みんなで色とりどりの衣装を着てニコニコの笑顔で元気いっぱい楽しく表現することができました。



私の好きな絵本

「おばけのやだもん」
作：ひらのゆきこ
出版社：教育画劇

おばけのやだもんは、やだやだ言う子のところへやってきて、やだやだおばけにしています。怖そうな顔をしているけれど、実は優しく心温まります。

コミカルでテンポが良くイラストもかわいい絵本で読んでいる私もクスクス笑ってしまい楽しい気持ちになれる一冊です。

千葉市幼稚園協会からお知らせ

ちばシティポイント
対象事業

幼稚園・認定こども園等で働きたい方をサポートします!!

厚生労働大臣許可番号：12-コ-300646

- 幼稚園教諭、保育士の資格をお持ちの方や資格取得見込みの方
- 子育て支援員として認定された方
- 上記以外の職種（栄養士、事務員、バスの運転手等）の方
- 子育てを終えて職場復帰を希望されている方

幼稚園・認定こども園で働きたい方や再就職を考えている方は、ぜひ、千葉市幼稚園協会HPの求職登録フォームよりご登録ください。資格をお持ちでない方もご相談ください。

千葉市幼稚園協会

検索

協会ホームページも是非ご覧ください。



公式X(旧Twitter)フォローお願いします
(@youchien_chiba)



子育て電話相談室

毎週水曜日 AM10:00~PM4:00

(夏休み、冬休み、春休みを除く)

 0120-510-439

編集後記

会報146号をお届けいたします。年度末のお忙しいなか「ともだちのわ」を手にとっていただき、ありがとうございます。

今年度を振り返ると、運動会や発表会などの行事が制限なく行われ、子どもたちの笑顔や元気な歌声が印象に残っています。一人一人の心と体の成長を実感することができました。

千葉市幼稚園教育研究会は13園で開催されました。コロナ禍を経て再開された公開保育も2年目を迎え、半日の日程でも効率よく充実した研修が行われた様子が開催園の振り返りからも伝わってきます。参観された先生方はさまざまな発見をし、自身の保育を振り返る貴重な機会となったことと思います。

そして、それが明日からの子どもたちの保育の発展につながると確信しています。

令和5年度の締めくくりの会報となりました。今号に原稿を執筆していただいた皆様に心より感謝申し上げます。

国内外に目を向ければ、地震や戦禍により大変な状況のなかで生きている人々がいます。一日も早く平穏な暮らしがもどることを願っています。このような時代に、子どもたちと充実した園生活に専念できることを感謝して日々の保育に取り組みたいと思います。

鈴木 義郎（幕張インターナショナルスクール幼稚園）